

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	勤労者協調融資事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援課		包含する細々目	1	5	1	1	10	3	170,000
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		勤労者生活資金及び教育資金融資あっせん要綱				
		事業期間	S56	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市に居住をする勤労者 <原資預託先> 長野県労働金庫飯田支店	勤労者数(H13事業所統計従業者数):人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			57468		57468	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	低利な生活資金(物資購入等の資金)及び教育資金を借りることができるようにする	年度新規利用者数:人	18目標	95	最終目標	100
			18実績	94	19目標	95
			23目標	100	23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	長野県労働金庫飯田支店を通して、生活資金・教育資金の融資あっせんを行う。	利用状況を確認した上で、融資枠の検討を実施 融資あっせんを受けることのできる者の規定改正検討 引き続き1年以上市内に住所を有する勤労者 引き続き市内に住所を有する勤労者	融資件数:件 融資金額:千円	94 98,180
	18年度の実績			
	19年度計画	利用状況を確認した上で、融資枠の検討を実施 融資あっせんを受けることのできる者の規定改正の実施 市民に限る	融資件数:件 融資金額:千円	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	170,000	170,000
一般財源			
事業費計(A)	170,000	170,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	170,358	170,358

特定財源内訳や補足事項	勤労者生活資金教育資金協調融資預託金
-------------	--------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	地域経済自立度:%	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>要綱の制定は昭和56年で、当時のサラリーマン金融問題がきっかけとなる。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>いろいろなローンが出現し、気軽に借りられる状況にあるが、反面、クレジット・サラ金に関する相談が増加している。 融資枠に対する利用率は減少傾向にある。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>過去には、融資枠の拡大と、手続きの簡素化要望が勤労者団体から提出された。 Uターンした勤労者向けの融資制度検討が必要との声が寄せられている。</p>
--	--	--

**【See】18年度の振り返り**

<b>目的妥当性評価</b>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 低利な融資斡旋による勤労者の経済的な生活安定・向上が、経済力の強いまちづくりに結びつく</p>	<b>有効性評価</b>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由) 利率の引き下げにより利用者の返済額負担が軽減される。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由) 市内の勤労者を対象としているが、引き続き1年以上市内に住所を有するとの条件が付されており、見直しが必要である(平成19年度より見直しを実施)</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 現在返済中の利用者に対する制度継続の必要性。融資利用者を守るために設置された制度であり、初期の目的が達成できない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 勤労者向けの低利融資は必要である</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由) 民間の融資とは制度の趣旨がことなる</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 低利融資のためには市から金融機関への原資預け入れが必要</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由) 大半の事務は労金にて実施</p>
			<b>公平性評価</b>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 預託金は必要であるが、保証料は利用者の自己負担。市内在住の勤労者対象</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">   </span></p> <p style="color: green; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">↓ 具体化</p>	<p style="text-align: center;"><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>平成18年度契約締結時における利率引き下げ交渉を実施したが現状維持 あっせん要綱の一部改正 平成19年度契約締結時に利率引き下げ交渉を実施する</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法 利率は最低限の水準となっており、交渉の難航が予想できる</p>
--	--

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	